

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名：栃木県 県土整備部 都市整備課

栃木土木事務所

事業の名称：小山栃木都市計画道路

3・4・202号樋ノ口河合線 街路事業

実施都市名：栃木県 栃木市

事業の目的

栃木市は、江戸時代から日光例幣使街道の宿場町として、また、市中心部を南北に流れる巴波(うずま)川の舟運を利用した商業都市として繁栄してきた。現在では土蔵や見世蔵など当時の建造物を生かした町並みが残る、県南部を代表する観光都市の1つである。しかしながら、栃木駅周辺地区は、鉄道により市街地が南北に分断され、踏み切りにおいて慢性的な交通渋滞が発生していた。このため、鉄道の連続立体交差事業、土地区画整理事業、シビックコア地区整備と併せて、本路線の整備により、中心市街地へのアクセス向上や安全・安心な歩行者自転車空間を確保するものである。

事業概要

事業名: 小山栃木都市計画道路

3・4・202号樋ノ口河合線 街路事業

路線名: 3・4・202号樋ノ口河合線

事業箇所: 栃木市城内町～栃木市境町

事業延長: 約1.2km

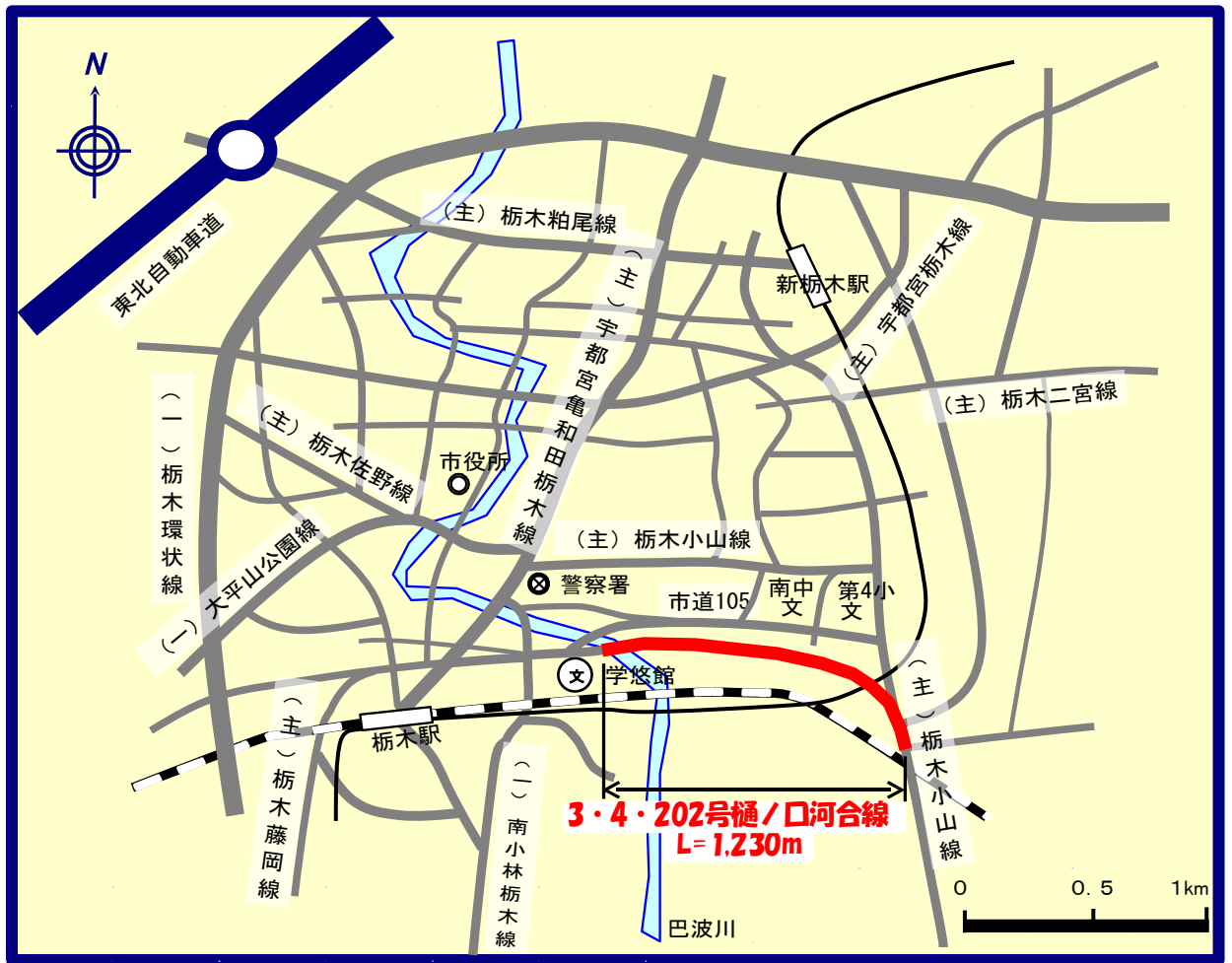
幅員: 20m(2車線)

総事業費: 約50億円

事業期間: 平成11年度～平成18年度

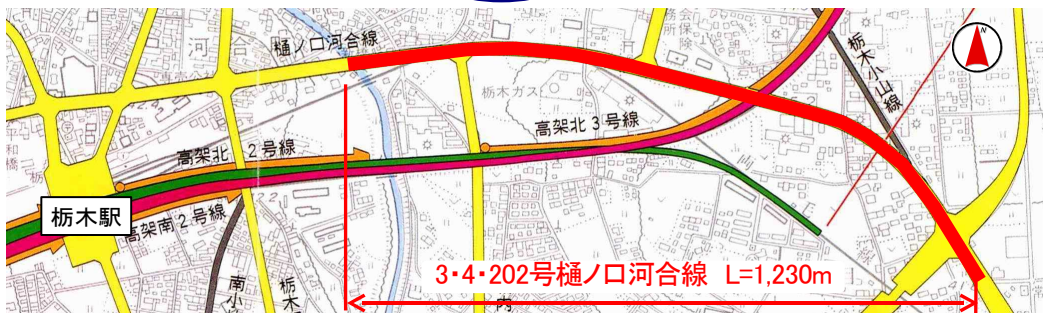
本事業は、県南の中核都市である栃木市と小山市を結ぶ幹線道路のうち、栃木市中心部の約1.2km区間における幅員20.0mのバイパス整備である。また、本事業区間には巴波川を渡る橋梁(平成橋: 橋長26.0m)を架設すると共に、通勤通学時における歩行者自転車の安全を確保するため、幅員4.5mの自転車歩行者道を整備するものである。

事業位置図

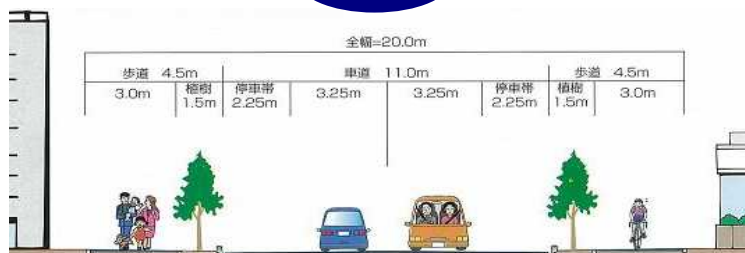


全体図(平面図・横断面図)

平面図



横断面図



小山栃木都市計画道路3・4・202号樋ノ口河合線 の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 小山栃木都市計画道路
3・4・202号樋ノ口河合線
街路事業
路線名: 3・4・202号樋ノ口河合線
事業箇所: 栃木市城内町～栃木市境町
事業延長: 約1.2km
幅員: 20m(2車線)
総事業費: 約50億円
事業期間: H11～H18年度

○交通量調査結果

供用前 平成16年10月6日
供用後 平成19年11月14日
および平成19年9月11日

リンク1)

交通量 0台 → 7,519台
旅行速度0Km → 26.5Km

リンク2)

交通量 6,681台 → 1,604台

「整備効果」

○市街地へのアクセス性の向上
(小山市境から栃木駅北口広場
までの約4km区間)
所要時間約3分の短縮

○渋滞長の解消

(主) 栃木小山線・市道105号交差点
270m ⇒ 0m



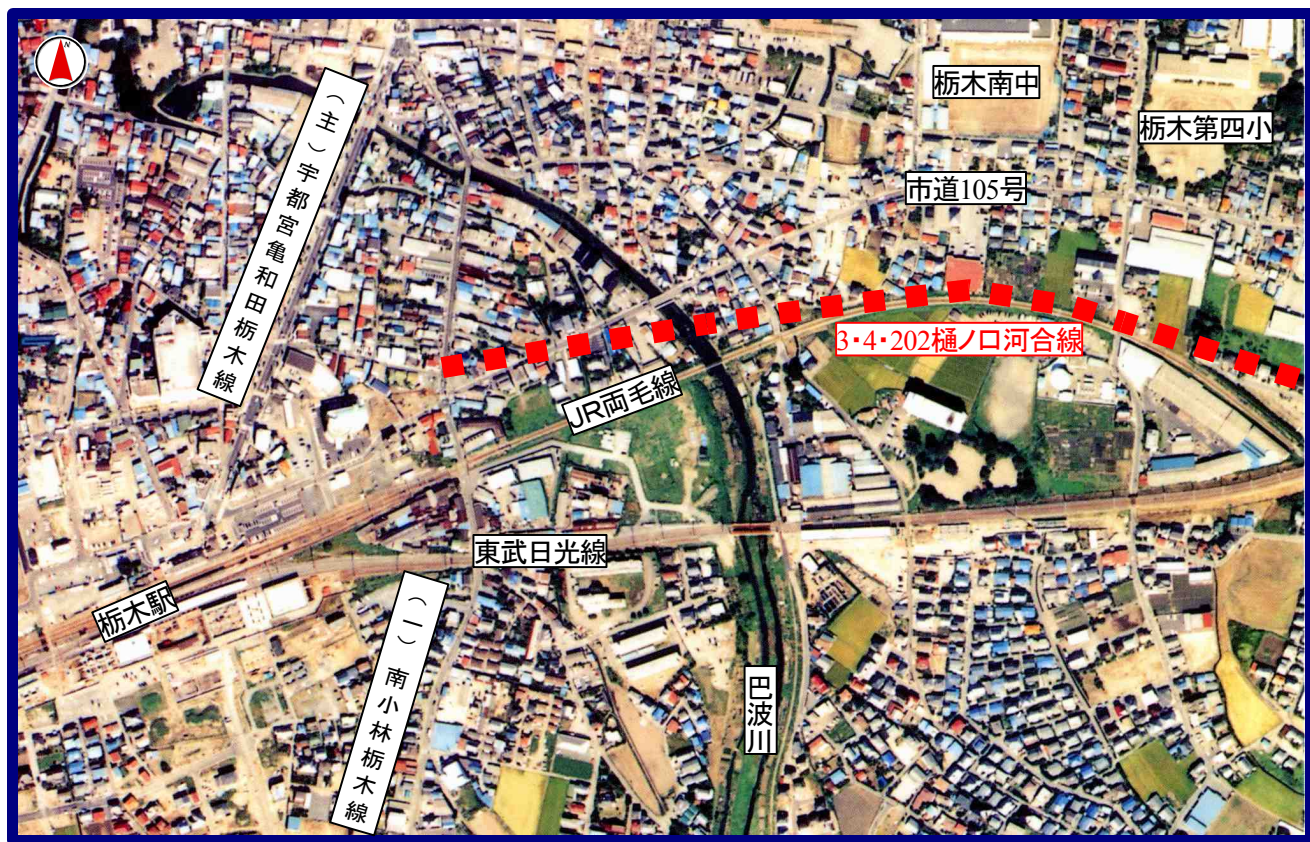
事業前: H19.3



事業後: H19.11

((主) 栃木小山線・市道105号交差点の渋滞状況) (樋ノ口河合線開通後の状況)

事業前写真



平成19年3月撮影



(主) 栃木小山線・市道105号交差点の渋滞状況

平成19年3月撮影



(主) 栃木小山線の供用状況

事業後写真

平成19年11月撮影



樋ノ口河合線の供用状況

平成19年11月撮影



樋ノ口河合線の供用状況

平成19年11月撮影



樋ノ口河合線の供用状況

平成19年11月撮影



樋ノ口河合線の供用状況

平成19年11月撮影



(主) 栃木小山線・市道105号交差点の渋滞解消状況